

別紙 1

【薬効分類】 1 1 2 催眠鎮静剤、抗不安剤

【医薬品名】 トリアゾラム

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案								
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビシスタット含有製剤、エファビレンツ</p> <p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <p>（新設）</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビシスタット含有製剤、エファビレンツ、<u>セリチニブ</u></p> <p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="1126 1098 2004 1343"> <thead> <tr> <th data-bbox="1126 1098 1317 1150">薬剤名等</th> <th data-bbox="1319 1098 1632 1150">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1635 1098 2004 1150">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1126 1152 1317 1343"><u>セリチニブ</u></td> <td data-bbox="1319 1152 1632 1343"><u>本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</u></td> <td data-bbox="1635 1152 2004 1343"><u>本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ(CYP3A4)であるため、本剤の代謝が阻害される。</u></td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>セリチニブ</u>	<u>本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</u>	<u>本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ(CYP3A4)であるため、本剤の代謝が阻害される。</u>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子							
<u>セリチニブ</u>	<u>本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</u>	<u>本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ(CYP3A4)であるため、本剤の代謝が阻害される。</u>							